FUJIFILM

instax mini 7
インスタントカメラ

FUJIFILM 保証書

製品名　instax mini 7　ご購入年月日　年　月　日

お客様　様　TEL

ご住所

店名印

製品保証規定

1. 保証の内容
ご購入後1年以内に万一この製品が故障したときは、この保証書を添えてご購入店または弊社修理サービスセンターにお届けください。無料で修理いたします。
なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、ご購入店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は保証期間内でも上記1.の保証規定は適用されません(修理可能の場合は有料で修理を お引き受けします)。
イ. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
ロ. 保証書にご購入年月日、購入店名が記入されていない場合、または記載事項を改ざんされた場合。
ハ. 富士フイルム修理サービスセンター以外で分解、修理されたもの。
ニ. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
ホ. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
ヘ. 本体に持参している付属品類(ストラップなど)および消耗品(電池類など)。
ト. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
チ. 各部点検、精密検査、分解掃除など本特別に依頼されたもの。
3. 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失、精神的な損害など)の補償には応じかねます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 本保証書は、前記の保証規定により無料修理を約束するもので、これにより弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本保証書の表示についてご不明な点は、右記の弊社問い合わせ先へご相談ください。
- 本保証書は紛失されても再発行いたしません。

主な仕様

使用フィルム	フジフイルム インスタントカラーフィルム instax mini
画面サイズ	62mm×46mm
レンズ	フジノンレンズ 2群2枚構成 f=60mm 1:12.7
ファインダー	逆ガリレオ式ファインダー 0.4倍 ターゲットマーク付き
撮影範囲	0.6m~∞
シャッター	1/60秒
露光調節	手動切り替え方式(撮影距離出計のLED表示による)
フィルム送り出し	自動式
フラッシュ	低輝度自動発光フラッシュ(自動調光) 充電時間:0.2秒~6秒(新品電池使用時) フラッシュ撮影距離:0.6m~2.7m
電源	単3形アルカリ電池 4本 録画可能パック数:約20パック(当社試験条件による)
その他	フィルムカウンター フィルムパック確認窓付き
大きさ・質量(重さ)	119.6mm×121.6mm×70.5mm 320g(電池、ストラップ、フィルム別)

*仕様・機能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

このようなときは…

撮影中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
シャッターが切れない。	①電池が消耗している。 ②電池の入れ方が間違っている。 ③電源が入っていない。 ④ ☀ ☀ 赤ランプが同時に点滅している。 ⑤電源のON/OFFまたは何も操作をしないで15分以上放置していた。	①電池を交換します。 ②電池を正しく入れてください。 ③レンズ鏡筒を手前に引き出し、電源を入れます。 ④フラッシュ充電中です。緑ランプが点灯するまでお待ちください。 ⑤レンズ部を一度押し戻し再繰り出しますか、シャッターボタンを押すと、電源ON/OFF状態に復帰します。
フィルムが入らない、またはスムーズに入り難い。	①間違いしようとしているフィルムパックがこのカメラに適合しない。 ②入れ方が正しくない。	①フジフイルム・インスタントカラーフィルム instax mini を使用します(他のフィルムは使用できません)。 ②フィルムパックの黄色の面とカメラの位置合わせマーク(黄)を合わせて入れます。
☀ ☀ 赤ランプが同時に点滅している。	*電池が消耗している。	*電池を交換します。

撮出来上がった写真がこのようなときは…

このようなときは	考えられる原因	こうしてください
撮出来上がった写真が白っぽい。	①被写体の明るさの測り方が適切ではない。 ②明るさ調節ダイヤルの設定が正しくない。 ③撮影時の温度が低い(+15℃以下)。 ④撮っぱい感覚地帯で撮影した。 ⑤測光窓、または、フラッシュ感測窓をふさいだ。	①レンズを被写体の中心に向けて、被写体の明るさを測ります。 ②レンズを被写体に向けたまま、明るさ調節ダイヤルの赤マークを明るさ表示に正しく合わせます。 ③撮影前のカメラを暖かい場所に置いてから撮影します。また、送り出された写真をポケットの中などで温めます。 ④明るさ調節ダイヤルを ☀ 方向に一段階回して試してください。 ⑤測光窓、フラッシュ感測窓をふさがないように、カメラの構え方に注意してください。
撮出来上がった写真が暗い。	①被写体の明るさの測り方が適切ではない。 ②明るさ調節ダイヤルの設定が正しくない。 ③撮影時の温度が高い(+40℃以上)。 ④逆光で撮影した。 ⑤フラッシュ発光部がふさがれている。 ⑥回っぱい感覚の場で撮影した。 ⑦フラッシュの光が届かない。 ⑧鏡やガラスなどによるフラッシュ反射光の影響を受けている。	①レンズを被写体の中心に向けて、被写体の明るさを測ります。 ②レンズを被写体に向けたまま、明るさ調節ダイヤルの赤マークを明るさ表示に正しく合わせます。 ③カメラを涼しい場所に置いてから撮影します。また、送り出された写真を暖ものの上や近くに置かないでください。 ④撮影距離を近くから、明るさ調節ダイヤルを緑ランプ方向に一段階回します。 ⑤カメラの構え方に注意してください。 ⑥明るさ調節ダイヤルを緑ランプ方向に一段階回して試してください。 ⑦被写体から0.6m~2.7mの範囲で撮影します。 ⑧鏡やガラスに対して斜めの角から撮影します。
画面がぼけやすい。	①被写体が近すぎる。 ②感覚レンズが汚れている。 ③手ブレのため。	①0.6m以上離れて撮影します。 ②弊社修理サービスセンターにご相談ください。 ③カメラをしっかり構えて、ゆっくりシャッターボタンを押します。
撮影にむら印がある。	①取り出してすぐ写真に圧力が加わった。 ②写真がスムーズに送り出されない。	①画面内を押さえたり、曲げたりしないでください。 ②フィルム出口を指などでふさがないでください。
ファインダーで見ちった目のとズレて写った。	*撮影距離が近すぎる。	*0.6m以上離れて撮影します。

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

- 🚫 絶対に分解しないでください。故障の原因になります。
- ⚠ 落下などにより内部が破損したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する原因になります。
- ⚠ カメラ(電池)が熱くなる、臭いが出る、煙が異いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの原因になります(電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください)。
- 🚫 フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。
- ⚠ カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の原因になります。
- ⚠ 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの原因になります。
- ⚠ カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する原因になります。
- ⚠ 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の原因になります。
- ⚠ 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の原因になります。
- ⚠ 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む原因になります。万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠注意

- ⚠ カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- ⚠ 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- ⚠ 新しい電池と古い電池、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。また、電池の⊕⊖を間違って装てんしないように注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ⚠ カメラの内蔵の可動部に触れないでください。けがの原因となることがあります。

CE　このマークは、安全性、衛生、環境設定の内容を証明する目的(指令)の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。(CEとはヨーロッパ語の(Conformité Européenne)の略)

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の期間で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルム修理サービスセンターに直接持参し出ください。それ以外の頃は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、右に記載の富士フイルム修理サービスセンターをご利用ください。

●代品修理
修理内容によっては外観の異なる同等タイプカメラの部品を代用、または同等タイプカメラを代品する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●無料修理
故障した製品については購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
*詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

●有料修理
保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」に該当する場合はすべて有料となります。また運賃諸掛りは、お客様にてご負担願います。

●修理不能
浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フイルム修理サービスセンターにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間
この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくは購入店か富士フイルム修理サービスセンターにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意
1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルム修理サービスセンターへ、指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてご相談と修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず簡留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な機能検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルム修理サービスセンターで、お預かりしてから通常7~10日位をご予定ください。

●海外旅行中の故障
本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、持ち帰った後、国内の富士フイルム修理サービスセンターにお問い合わせください。

取扱上のお願い

■カメラの取り扱い
1. カメラは精密機械ですから、決にぬらしたり、強くたたいてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところに置かないでください。
2. 電源のスイッチをご使用になる場合は、ストラップの根元をご確認の上、ご使用ください。長時間使用、PHS用ストラップは電磁波対策ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
3. 長期間お使いにならないときは、電池を取り出して、湿気、塵、ほこりの影響の少ないところに保管してください。
4. レンズ、ファインダーなどが汚れたら、ソフトブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふき取ってください。
5. 汚れをふきとるのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
6. フィルム室に汚れやほこりがあると、フィルムが傷つけることがあります。特にカメラ内部の再挿填時に心掛けてください。
7. 暖め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、湿度などに長時間放置しないでください。
8. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
9. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、こくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、1分以上おいてから再挿入し使ってください。
10. このカメラの使用温度範囲は+5℃~+40℃です。

■フィルム、写真の取り扱い
1. フィルムは、涼しい場所に保管してください。特に暖め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く撮影してください。
3. フィルムを極端に湿度の低い場所や極い場所に置いてしまった場合は、撮影の直前に入れかえられるようにしてください。
4. フィルムは有効期限内にお使いください。
5. 密閉の別り入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みを推すすめします(詳しくは各空港でご確認ください)。
6. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。

*内から入った異物や、フィルムからもれた液によってローラーが汚れた場合は、富士フイルム修理サービスセンターにご相談ください。

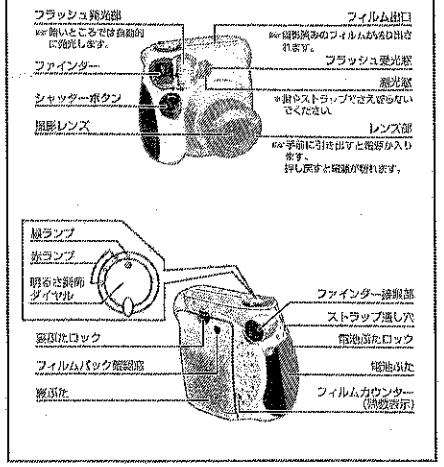
FUJIFILM　富士フイルム株式会社

●本製品のお問合せ先
富士フイルム PI サポートセンター
ナビダイヤル 0570-001-080 ナビダイヤル ※呼び出し音の前に NTT より通信料の自動案内が知らせします。
受付時間:月曜日~金曜日 9:00~17:40(土日祝日、年末年始、夏期休暇を除く)
▶ PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合は、042-481-1697 にお願いします。

●本製品の修理受付窓口
富士フイルム修理サービスセンター
ナビダイヤル 0570-000-081 ナビダイヤル ※呼び出し音の前に NTT より通信料の自動案内が知らせします。
FAX 0570-060-070
受付時間:月曜日~金曜日 9:00~17:40/土曜日 10:00~17:00(日祝日、年末年始、夏期休暇を除く)
▶ PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合は、0228-35-3586 にお願いします。
▶ 修理品を持参または送付される場合は、下記サイトをご覧ください。
http://fujifilm.jp/support/

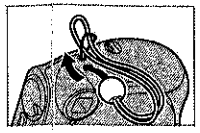
●富士フイルム製品のお問合せ先
富士フイルム株式会社
お客様コミュニケーションセンター 03-5786-1711
〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号
富士フイルムホームページ:http://fujifilm.jp/

各部の説明



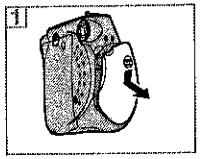
撮影の準備

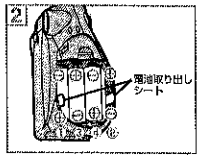
ストラップを取り付ける



ストラップ通し穴にストラップを通します。

電池を入れる





電池蓋を開けます。

❶⊕⊖の方向を表示に合わせて①⑥の2本の電池を入れてから、③④の2本の電池を入れます。
※電池取り出しシートが電池の下になるようにしてください。

❷電池蓋を閉めます。

電池の交換時期

* 赤ランプが3つ同時に点滅したとき
* 電源を入れたときに、緑ランプ、赤ランプともに点灯／点滅しないとき
* それでも新しい電池に交換してください。

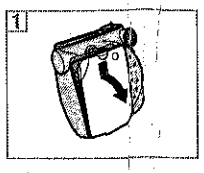
電池の取り出し方

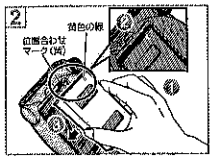
❶上部のまゆを取り出します。
❷電池取り出しシートをゆっくり引いて、下側のまゆを取り出します。

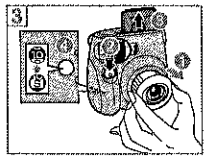
使用する電池　★単3形アルカリ電池　4本

* 部分毎とも、新しい間に銘柄・種類のものを使用してください。
* アルカリ電池以外は使用しないでください。
* 新しい電池で撮影100パック撮影できます（撮影環境条件による）。
* 電池電圧は充電の電池が低下します。電池をポケットの中などで温めてから使用いただいてください。

フィルムパックを入れる







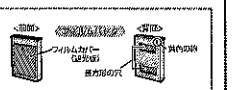
蓋部を開けます。
※蓋部に無理な力を加えないでください。
※カメラの内部に触れないでください。

❶フィルムパックの左右を持ちます。
❷フィルムパックの黄色の線とカメラ内部の黄色の位置合わせマークを合わせます。
❸まっすぐ落とし込むように入れます。蓋部を閉めます。
※蓋部を強ひとしまで閉めてください。途中で止めたり、完全に閉まる前に開け閉めをすると、フィルムが光感する恐れがあります。

❹レンズ部を手前に引き出します。
❺シャッターボタンを押します。
❻排出されたフィルムカバーを取り除きます。
❼フィルムカウンターが"5"→"10"に変わり、撮影可能になります。
※シャッターボタンを押すと、暗いところではフラッシュが発光することがあります。

使用するフィルム

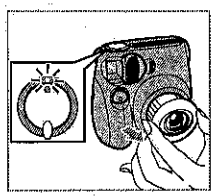
★フジフイルム インスタントカラーフィルム instax mini（チェキ用フィルム）
（他のフィルムは使用できません）
※フィルムパックには1枚毎に一フィルムカバーと1枚のフィルムが収納されています。
※フィルムパックはカメラ内部に入れる前に内箱から取り出してください。
※フィルムカバー、電池は、所定箇所以外に差し込まないでください。



撮影してみよう（屋内や暗い屋外での撮影）

1 PREPARATION

レンズ部を手前に引き出します。
※緑ランプの点灯を確認します。



緑ランプについて

緑ランプ点灯

撮影準備ができました。
※撮影前に緑ランプの点灯を確認してください。

緑ランプ点滅

遠くに点滅	間近に点滅
＜フラッシュ発光中＞	＜撮影準備完了＞

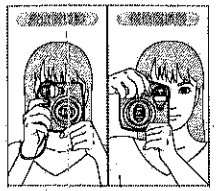
充電ランプが点灯するまで待ちください。

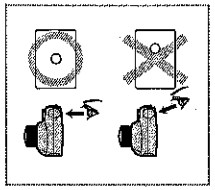
電池容量が少なくなりましたので、新しい電池と交換してください。

※明るさ調節ダイヤルは緑ランプにセットされます。
※電源を入れれば事前に撮影準備完了。電源が切れ、すべてのランプが消灯し、省電状態に入ります。次のいずれかの方法で電源は再び復帰できます。
* レンズ部を一旦戻し、再度引出します。
* シャッターボタンを押す。

2 AIM

カメラを両手でしっかり構え、ファインダーをのぞきます。



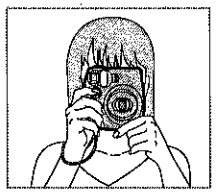


※撮影準備中は、フラッシュ発光部が上にくるように構えます。
※フィルム出口を指ないようにしてください。
※指やストラップなどが撮影レンズやフラッシュ発光部、フラッシュ受光部、測光窓に掛からないようにしてください。

ファインダーは、中央の○が見えるように真正面からのぞいてください。
その際、指がファインダーから見えないように構えてください。
※○が中心からズレていると、見える範囲と写る範囲にズレが生じます。また、ファインダーから指が見える状態で撮影すると、フラッシュ撮影できる明るさを実際より暗くなることがあります。

3 SHOOT

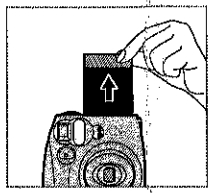
構図を決め、シャッターを切ります。
※暗いところでは自動フラッシュが発光します。



※被写体距離は0.6mです。
※フラッシュ光が届く範囲は、0.6m～2.7mです。
※シャッターボタンを押すときにレンズ部に触れないように注意してください。

4 DEVELOPING

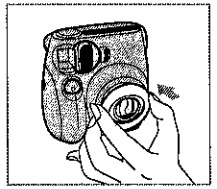
モーター音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出します。



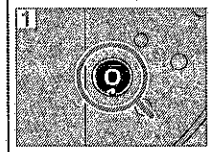
※フィルムが送り出されるときにフィルム出口を指などでふさがないでください。
※撮影したフィルムは、そのまま暗所で放置してください。

5 OPTIONAL

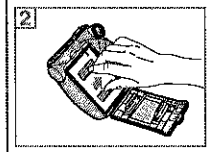
レンズ部を押し戻します。



フィルムパックを取り出す



撮影するたびにフィルムカウンターの数字が"10"から減っていき、最後の1枚を撮り終わると、"0"が表示されます。

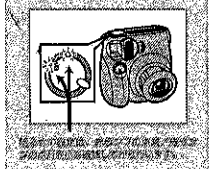


蓋部を開け、フィルムパックを取り出します。

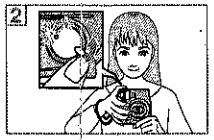
明るい屋外での撮影・明るさ調節ダイヤルの使い方

きれいに写すために、明るさ調節ダイヤルの使い方をマスターしましょう。

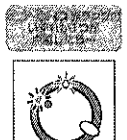
フィルムは光などで傷むものなので、カメラの中に入れて、明るさ調節ダイヤルをセットしておくのです。



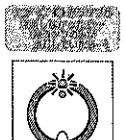
撮りたいものが決まったら、レンズを被写体に向けます。
※カメラが被写体の明るさを測り、赤／緑ランプを表示します。



レンズを被写体に向けたままで、明るさ調節ダイヤルの赤マークを赤／緑ランプの表示に合わせます。



明るさ調節ダイヤルの赤マークを点滅している赤ランプ（明るさ表示）に合わせます。



明るさ調節ダイヤルの赤マークを緑ランプに合わせます。

フラッシュを上手に使うには

鏡やガラスなど、光を反射させるものがあるとき
少し斜めから写すなど、反射光がカメラに入らないように工夫しましょう。

二人以上の人物を撮影するとき
カメラからそれぞれの人物が同じ距離に並んで、均等にフラッシュ光が当たるようにしましょう。

フィルムや出来上がった写真を取り扱うときは…

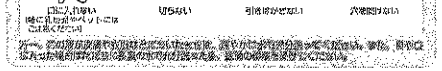
* 写真の仕上がり　+5℃から+40℃の温度で使用いただくと、よい写真が得られます。
* 気温が低い場合は、すぐに上着のやっとこもしたポケットの中などで約30分温保めてください。
* 極端に熱いところに置かないでください（例）車のコンクリートの上、ストーブの近くなど。
* 直接日の当たるところ、湿気は避けてください。
* 撮影済みの写真を扱うときは、撮影ボタンを押した後、直ちに、直ぐ取り出してください。

正しい写真は、フィルムの取り扱方法で決まります

* フィルムが残っている状態では、絶対に蓋部を開けないでください。
※フィルムが感光する恐れがあります。
* フィルムカウンターがリセットされ、正しい撮影可能枚数が表示されません。

ご注意

* このフィルムの内面には、黒色の現像液（陽アルカリ性）の液が塗布されています。撮影後、約10分間でアルカリ性は無害化されますが、未使用のフィルムや撮影直後の写真を扱うときは、次のことにご注意ください。



万一、その液が皮膚や目に付いたときは、直ちに水で洗い流してください。また、目や口に入ったときは、直ちに水で洗い流した後、医師の診察を受けてください。